

平成28年度第5回流山市生涯学習審議会会議録

1 日 時

平成29年1月16日（月）14時00分開会

2 場 所

流山市文化会館（中央公民館） 講義室

3 議 事

- 1 流山市子どもの読書活動推進計画について
- 2 その他

4 出席委員

佐々木副会長 辻野委員 伊藤委員 増満委員 鈴木委員
井田委員 神田委員 後藤委員 藤田委員

5 事務局

戸部生涯学習部長 玉田生涯学習部次長兼生涯学習課長
中西公民館長 小栗図書・博物館長 染谷図書・博物館次長
阿部図書・博物館次長 安蒜図書・博物館図書係長
山本図書・博物館司書 松本生涯学習課長補佐 長岡生涯学習
課生涯学習係長 野口臨時職員（記録）

7 傍聴者 1名

8 会議録

14時00分開会

（事務局）松本課長補佐

本日はお忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。
ごさいます。

ただ今から平成28年度第5回流山市生涯学習審議会を開催いたします。議事に入らせて頂きますが、はじめに、本日の会議資料の確認させていただきます。

年末に資料をお送り致しまして、委員の皆様方には、修正、ご意見等を頂きありがとうございます。これに基づきまして、事務局の方で修正、訂正しまして、1月13日付けで郵送させて頂きました。

本日は、その資料に添って進めさせて頂きたいと思っております。

1 資料1改 流山市子どもの読書活動推進計画（平成29年1月修正改案見え消し版）

2 資料2改 流山市子どもの読書活動推進計画の概要（見え消し版）

補助資料としまして

3 資料3改 流山市子どもの読書活動推進計画のための調査票（見え消し版）

4 資料6 流山市子どもの読書活動推進計画（案）等に関する指摘事項の関係書類を送らせて頂きました。

- ・年末にお送りいたしました次第があります。

- ・流山市子ども読書活動推進計画策定についての（答申）案

本日は、これに基づいて進ませて頂きます。

その他、図書館・博物館の方から流山市図書・博物館年報、全国社会教育研究大会（北海道）のチラシを配布させて頂きましたのでよろしくお願い致します。

ここからは佐々木副会長に進行をお願いしたいと思います。

（佐々木副会長）

本日の会議ですが、伊藤委員がまだいらしていませんが、現状8名の出席がありますので審議会議は成立しております。よろしくお願い致します。

傍聴の方が1名いらっしゃいます。指針により許可しておりますので、ご案内してください。

本日の議題は、先にご説明の推進計画の策定についてとその他ですが、先に（１）流山市子どもの読書活動推進計画について、事務局の方から改訂の改訂案になっていますので、ご説明をお願いします。

（事務局）小栗図書・博物館長

本日は、寒い中ご参集頂きありがとうございます。

前回の資料は年末に、今回の資料も年頭に、大変お忙しい中送らせて頂きました。また、日程も短い中ご検討頂きお礼申し上げます。

私からはまず、資料の概要について説明させていただきます。

前回、資料１から３につきましては、前回の会議に皆様からのご意見を頂いたものを改定し年末に送らせて頂きました。

今回はそれに加えて、皆様のご指摘事項に関係各課の指摘事項を資料６にまとめ、資料１から３を改定し完成させて今回の資料とさせていただきます。

資料４をご覧ください。

１ 概要版を作成したこと。

２ 計画案については、

（１） 計画の期間を、３年から５年に変更したこと。

（２） 市立図書館とおおたかの森子ども図書館の内容を充実させたことにより、ページ数が増えたこと。

（３） ブックスタート事業を関連事業に変更したこと。

（４） 読書通帳機については、削除されたこと。

（５） 学校図書館のオンライン化については、検討することに。

以上が大きく変更した点です。

資料６につきましては、皆様からの指摘事項、関係各課からの意見をまとめたものを１ページから９ページは計画案に関すること、その次は概要版に関すること、調査書に関することの指摘事項を修正し今回の改訂版に反映させて頂いております。

資料2の、流山市子どもの読書活動推進計画の概要について、説明させていただきます。

【これまでの取組】

こちらは、生涯学習団体の中でもさまざまな取り組みがされ、関係各課と其中でも主要なものを取り上げています。

- ・ボランティア団体による地域でのおはなし会の実施
- ・おおたかの森こども図書館の開館と環境整備
- ・学校やボランティア団体への図書館からの団体貸出
- ・おはなし会、読み聞かせ講座の開催
- ・ブックスタート関連事業の実施
- ・保護者や地域ボランティアによる学校図書館の蔵書整理
- ・小中学校での「朝の読書」の実施 他でございます。

これらアンケートによる読書環境の現状把握をしたところ、今後の課題としております。

- ・乳幼児や保護者の図書館利用に対する需要の増加
こちらは、人口増加やその世代の方々が流山に多く住んでいる。

- ・児童館（センター）、学童クラブの読書関連活動の不足については、市内7箇所の児童センターが対象です。

- ・地域ボランティアの導入については、
全施策に対するものと解釈して頂きたいと思います。

- ・ブックスタート関連事業の拡充については、
後で説明いたしますが、計画案にもあります。「おはなししゅっぱつしんこう！」ブックセット関連事業のことです。

- ・年齢が進むにつれ読書離れの傾向
小学生よりも中・高生の読書が少ないということがアンケートの結果によるものです。

・学校図書館司書の配置、学校図書館担当者向け研修会の不足
こちらについては、以前の調査によるアンケートによるもので
す。

・蔵書数が少ない子育て関連施設

これは、保育園、幼稚園、学童保育などを対象にしております。

これらのことから、「流山市子どもの読書活動推進計画」にお
ける対応が必要だということで、計画策定の目的の中でも大きい
ものとして、「読書活動を通じて、生きる力を育み、豊かな心を
育てる。」こちらは、2ページの最終段落あるいは、3ページの
第一章の1計画策定の目的で表現されている文言です。

第1章の2の計画策定3つの基本方針と合致します。

(1) 子どもの読書環境の整備・充実

(2) 家庭・地域、市立図書館、学校の連携・協力による
子どもの読書活動推進

(3) 子どもの読書活動に対する理解・関心の向上と普及

こちらが、基本方針となりまして、計画を推進するものでござ
います。

その右側おもな目標とする指標は、計画案の7ページと整合す
るものでございます。

・市立図書館における乳幼児対象事業への参加人数は、おはな
し会を含め6,488人から7,200人に。

・市立図書館の団体貸出の1年間の利用冊数は、14,632
冊から16,000冊に。

・読書が好きな小・中学生の割合を、75パーセント台から8
0パーセントに。

・高校生期（16歳～18歳）における読書の状況につきまし

では、年 2. 8 冊から 3. 8 冊に。これにつきましては、井田委員から少ないのではないかのご指摘がありました。

また、指標、上から 2 番目の 1 年間の利用冊数は、表と整合させるのには、一番下に持ってくるべきかと思っています。

その下、計画推進のための 5 6 事業ですが、計画案の 8 ページ以降の第 3 章 1 から 4 に記載されております。

大きな字の 5 つの重要施策の右側の計画期間、平成 29 年度から平成 33 年度の 5 年間とするは、計画案の 4 ページと整合しています。

真ん中の「5 つの重要施策」につきましては、**1 読書環境の整備
2 読書活動の推進 3 人的サービスの充実 4 地域・各種機関の連携 5 読書活動の啓発・普及**

この施策をもって、各事業主体がどのように取り組むか、これも下に記載してあります。

【家庭・地域】<8 事業> これも計画案の 8 ページ以降に記載されています。

・学童クラブ、児童センターでの市立図書館の団体貸出やリサイクル図書の活用による、読書環境を整備

・保健センターでの乳幼児向けのブックリストの配布と、ブックセットの設置（ブックスタートの関連事業）です。

・各種刊行物での図書館 PR やおすすめの本のリスト配布

◎ボランティア団体による子ども読書の事業開催、地域おはなし会の充実

説明が遅れましたが、下の、二重丸がついているものが、新規事業で、下線は、主要事業のことです。

家庭・地域の 8 事業の一番下のボランティア団体による「子ども読書の日」の事業の開催、地域おはなし会の充実は、二重丸がついていますが、実施している事業なので、二重丸が適切かと思います。

【市立図書館】<2 6 事業>

◎おおたかの森の図書館の資料の充実・特色化と学校との連携

これまで環境整備してきました、おたかの森こども図書館の新たな図書推進活動として二重丸にしました。

- ・子ども向け電子書籍の利用促進

◎各市立図書館や市内小中学校へ「どくしょつうちょう」の配布
これも二重丸になっています。

- ・年齢別やバリアフリーおはなし会の開催

- ・ティーンズサービスの充実

- ・学校図書館担当者向け研修会の開催

これは、次に出てくる学校との関係性を密にする取り組みです。

- ・司書の適切な配置と継続的な知識の習得

◎学校図書館ボランティア養成講座の開催

- ・団体貸出の拡充と利用促進

これまでに行なわれて来た団体貸出をアピールするためです。

◎「おはなし しゅっぱつしんこう！」事業実施（ブックスタート関連事業の拡充）

これは、先ほどの【家庭・地域】のところと整合するものです。

【学校】<14事業>

◎インターネット環境の整備と活用

学校図書館との整合です。

- ・学校間・市立図書館とのオンライン化の検討

前回までは「オンライン化」でしたが、「オンライン化の検討」は関係各課の意見によるものです。

- ・「朝の読書」の実践や学校図書館を利用した調べ学習の推進

◎学校図書館司書の配置の推進

昨年、今年と始まっていて、特に取り組んでいる事業です。

- ・授業での団体貸出の積極的な活用

- ・学校図書館担当者向け研修会の参加

図書館の研修会と整合しています。

- ・保護者や地域ボランティアとの連携

【保育所（園）】<8事業>

計画案の 28 ページ以降に書いてあります。

・市立図書館の団体貸出やリサイクル図書の利用による読書環境の整備

・おたよりやパンフレット等による保護者への読書啓発活動の実施

・保育士や教諭の各種研修会への参加

・ボランティアによるおはなし会の開催や読書環境の整備

上記のようところが、主に活動事業として現れている内容です。

概要についての説明は以上です。続きましては、計画案について説明させていただきます。

(事務局) 染谷図書・博物館次長

推進計画の説明に入らせて頂きます。審議会の委員の方々と関係各課の協議したご意見と事務局の意見をまとめて、見え消しの再考点だけ申し上げます。

まず表紙からですが、表題の枠を取りました。枠がついている物がほとんど無いので取りました。

次のページの目次の一番下に、表紙のカットを書いた図書館職員の名前を載せました。

1 ページ

1 行目 読書を通して、読書だけでないので読書などを通してに書き変えました。

下から 8 行目

流山おおたかの森駅を「流山おおたかの森駅」に直しました。

2 ページ

1 行目 その影響が懸念されています。を

その影響が懸念され、本市においても例外ではありません。
に書き変えてあります。

下から 3 行目

これまでの取り組みを整理・協力してを
これまでの取り組みをふまえて、さらに充実させに訂正
いたしました。

文中の図書館の標記をすべて市立図書館に、保育所・保育園が
並列な書き方になっていましたので、保育所（園）に書き変えま
した。

3 ページ

表の直ぐ上

施設・設備や人的環境の整備・人的サービスの充実に
努めます。を

人的サービスの充実に努めます。に書き直しました。

表のタイトルが無かったので、タイトルを付けさせて頂
きました。

表の中では、一番下の段のインターネットを使った資料の検索、
とティーンズコーナーの充実の順番を入れ替えておきまして、テ
ィーンズ向け資料の充実をティーンズコーナーの充実に改めてお
ります。

4 ページ

用語解説のヤングアダルトコーナーをティーンズコーナーに改
めております。

流山市では、ヤングアダルトサービスをティーンズコーナーで展
開していますので、ティーンズコーナーに改めました。

5 計画の推進と評価という所ですが、**主管課（図書・博物館）**
は関係課との連携のもと、を付け加えさせて頂きました。

誰が責任を持って遣るかというところで、**主管課（図書・博物館）**
がという事で付け加えました。

5 ページ

丸の中学校のところ、
パソコン利用による情報活用の推進をインターネット環境の整備と活用に変えました。

他校・市立図書館とのオンライン化を学校間・市立図書館とのオンライン化とわかり易く書き変えました。

6 ページ

目標とする指標のところ、学校図書館図書標準の達成状況で、下の米印のところに説明が有りましたが、あえてそこに数字を入れずに文言を入れ米印を取りました。目標数値のところは、文言にしてあります。

小学校、中学校の27年度のパーセントなのですが、最新の27年度末の数値に変更していますので、若干変わっています。

7 ページ

写真ですが、整理しまして2枚から3枚にしました。

8 ページ

8 ページ以降の主な事業の枠の中の文章を事業主体の右枠の中に入れました。主な事業の説明文章の主語を取ってすっきりさせました。

児童センターを児童館（センター）に、保健センターについては、健康増進課が主管課なので、保健センターが主語になっています。それは全部置き換えてあります。

10 ページ

主な事業ですが、「子どもの読書の日」を具体的に「子ども読書まつり」を付け加えました。

11 ページ

(2) 市立図書館の現状で、子どもの読書活動の動推進のため、これまで、を加筆しております。

12 ページ

25年度、25年度、26年度26年度と2つつ年度が書いてありますが、25年度1つ、26年度1つに年度をまとめてあります。

13 ページ

下から4行目、平成29年はスウェーデン大使館の後援を得て、を加筆して、ちょっと目立つようにしました。

「子ども読書の日」を記念して、スウェーデン児童文学のパネルをお借りして、博物館の第2展示室で大きくとりあげて、アピールしたいとおもいました。

14 ページ

「おはなし しゅっぱつしんこう！」のところの文章を「です」、「ます」調に変更しました。

下の方の目標のところ、現在1施設に貸出していますが、平成30年度までに49施設貸出へと書いて有りますが、「おはなし しゅっぱつしんこう！」の49施設は、幼稚園、保育園だけが対象だと思っていましたが、児童館、児童センターでも赤ちゃん向けの事業が有る事が分かり、このところを変更し、29、30、31年度の3年間かけて、81施設ということで変更させて頂こうと思います。

15 ページ

加筆が若干有りまして、先生のご意見を取り入れて変更させて頂いております。

17 ページ

最初は、33年度の目標値がかなり低かったので、事務局としてもう少し頑張ろうと言う事で、3.8パーセントに持ってきていましたが、5年間で15パーセント増の数値に変更しましてこの様な数字にしました。

また、写真を小さくして全体をコンパクトに致しました。

18 ページ

「おはなし しゅっぱつしんこう！」のところと整合性をとるため、⑬に乳幼児向けブックコーナーを整備し、子育てに関わる人がすぐに手に取れると付け加えています。

19 ページ

⑰ ⑱も整合性をとるため、加筆して有ります。

20 ページ

⑳も整合性を取るため乳児用ブックセットを加筆しています。

21 ページ

㉓に「学校向けブックセット」として団体貸出の利用を促進する。に書き換え、来年度予算が付きましたので、学校向けブックセットを貸し出す方向で考えています。

24 ページ

下から11行目網掛けの部分、流山市内の小・中学校において、児童・生徒が、急増している学校があり、学校図書館標準に達していない学校もあるため、これらの学校に特別に予算配当しているが、達成できない状況である。

各課からのご意見がありまして、この様に書き加えさせて頂きました。

④③のところで、学校司書、学校図書館司書を学校図書館司書に統一してあります。

大きなところは、以上です。

(佐々木副会長)

どうもありがとうございました。

ご意見、ご質問がありましたらどうぞ。

(事務局) 小栗図書・博物館長

改良版のところで、一番下の学校のところで**他校**は間違いなので、**学校間**に改めさせていただきます。

(佐々木副会長)

計画(案)の中と同じようにと言う事ですね。

今頃になってお恥ずかしいのですが、

6ページの児童登録者数のところで、指標の概要の欄で市立図書館の18歳までの登録者数になっていて、37ページの児童に関する流山市立図書館統計で、登録者数の推移、学校で言うと児童が小学生、生徒が中学生、高校生と頭に浮かびます。4ページの本計画で言う子どもは、**おおむね18歳以下の人をいいます**。整合しなくなるのでは、いかがでしょうか。

定義として児童と扱うのはどうか。児童を子どもと明記した方が良いのでは、どうでしょうか。

(事務局) 小栗図書・博物館長

訂正いたします。

(佐々木副会長)

そうして頂ければ、訂正お願いします。

4 ページと統計での整合性が取れないと思いますので。

(後藤委員)

26 ページの ④③ が一つの文章が長すぎて良く分からない。後の2行目の**学校は、最重要課題である専任の学校図書館司書の配置に努める**。学校が主語に捉えられてしまうのでは、もう少しわかり易くした方が良いでしょうと思います。

(鈴木委員)

関連してですが、学校が配置に努めるというのは、市とか県教育ならわかるが、**学校は、**は削除したほうが良いでしょうと思います。

(事務局) 小栗図書・博物館長

学校は、は削除します。前と後ろの文を分けたほうがわかり易くなると思います。

(鈴木委員)

21 ページの ②⑦ 「学校向けブックセット」については、立派な物でなくても良いので、お知らせやチラシ、パンフレットなどを配布していただければ、その存在を知らない学校が多いので、この様な制度があることを知ってもらうことが出来ると思います。

(佐々木副会長)

予算が付いたと聞きましたが、29年度予算ですか。

(事務局) 小栗図書・博物館長

29年度予算につきましては、図書購入費相当になりますが、200万円と視聴覚資料に68万円が増額になりました。

200万円につきましては、50冊をセットにして7万円位で27施設分買うことが出来ます。

アンケートを取りました全ての施設、保育園から高校まで、4年かかりますが、計画期間内の事業「学校ブックセット」の団体貸出の促進をして行くつもりです。

予算につきましては、29年度から計画的に予算化されることになると思われます。

(佐々木副会長)

14ページの目標のところ、ブックスタート関連事業で3年かけて81施設にと訂正されましたが、学校との事業と予算化についてどうなっていますか。

(事務局) 小栗図書・博物館長

乳幼児向けが先行になります。

(佐々木副会長)

小学校、中学校全校に実施できるまでは、一斉にという訳には行きませんね。

(事務局) 小栗図書・博物館長

学校の方は、4年目ぐらいになります。

(佐々木副会長)

子ども向けを先に先行させて、その3年後に学校にとなりますか。

(事務局) 小栗図書・博物館長

学校には、学校図書館が有りますので、先に不足している乳幼児の施設になると思います。

(佐々木副会長)

学校には希望を取るなり、このような制度がありますよとお知らせをして行きますね。

(事務局) 小栗図書・博物館長

はい。

(神田委員)

24 ページ、全体の文章が「です。」「ます。」調になっていますので、下から9行目の加筆のところ、達成できない状況がある。をあります。に直した方が良くと思います。

(事務局) 安蒜図書・博物館係長

数字の間違いが有りましたので、訂正したいと思います。

6 ページ、一番下の市立図書館の団体貸出の1年間の利用冊数が、14,632冊を12,389冊に訂正いたします。

(佐々木副会長)

平成33年の5年後の16,000冊は、生きるのですか。それとも変更しますか。

(事務局) 安蒜図書・博物館係長

もう少し検討させて頂きたいと思います。

(佐々木副会長)

その数字は、15パーセントで考えて良いですか。

16,000冊を変更ですか。

(事務局) 安蒜図書・博物館係長

11 ページの南流山分館の人数1,042人を1,027人に訂正したいと思います。合計は合っています。

(佐々木副会長)

南流山分館の人数が1,027人ですね。

他にお気づきの点がありましたら。

(増満委員)

22ページの③③の文章で行い、行いが続いている、冗長な面が出ているので直して頂ければと思います。

例えば、**事業、PR**等を行いにすると落ち着くのではないかと思います。

(事務局) 小栗図書・博物館長

ありがとうございます。

(井田委員)

6ページの目標とする指標で、目標年度3.8冊の数字が気になっています。

17ページの表は、27年度の現状があって、目標値が書かれ、わかり易くなっていますが、目標値の基準がどうやって決まったのか。わりと自由にパーセンテージが変えられるようですが、それならもう少し頑張って目標をあげてもと思いました。

(事務局) 山本図書・博物館司書

市立図書の統計から出てきた数字で、なかなか高校生は図書館で本を読むことが少ないので、読んで貰いたいところの数字です。

(井田委員)

今より1冊でも多く読んで欲しいところの数字ですね。

(事務局) 安蒜図書・博物館係長

先ほどの6ページ一番下の団体貸出の利用冊数は、15パーセントで計算しまして、平成33年度の冊数は**14,000**冊でお願いしたいと思います。

(佐々木副会長)

14,000冊ですね。

(井田委員)

すみません。全然違いますが、計画の表紙のイラストは、お名前が入っているのでこのまま、計画に使うのでしょうか。

(事務局) 小栗図書・博物館長

こども図書館がモデルになっておりまして、テーブル等の配置も同じで、推進計画の拠点になりますので使って行きたいと思います。

(井田委員)

今さらですが、パット見て若いお母さんが子どもを連れて来るのか、ここにお父さんやおじいさん、おばあさんがいても良いのではと思ったのですが。

(事務局) 小栗図書・博物館長

お父さん。

(井田委員)

明らかに、お母さんだけですよね。気になる人は気に成りません。

(事務局) 小栗図書・博物館長

お父さんを加筆します。

(佐々木副会長)

間に合いますか。頑張ってください。

(後藤委員)

今のご意見に賛同します。今、本屋さんで売れている本が有

りまして、子どもを本気にする10の秘訣で、家族で本屋さん、図書館に行こうと言う1項目があります。もし出来れば考えて頂ければ良いかと思いました。

(辻野委員)

また、今さらと言われてしまいますが、他の市、県などでは、イラスト、写真を除いたものをホームページとかで見ます。

流山市の今回の計画は、ふんだんにイラスト、写真、表紙にはカットを入れ、非常にユニークな良い計画になっていると思います。

そうは思うのですが、これを出した時、他の部署等ではどういふ反応が示されたのか聞きたいのですが。何かありましたか。

(事務局) 小栗図書・博物館長

特にありませんでした。

(辻野委員)

他のところでは、イラストや写真はあまり無いのですね。

今回、こども図書館を前面的に出そうと言うことでこの形になったんですね。

(事務局) 戸部生涯学習部長

補足させて頂きますと、皆さんに手に取って読んでいただければと思ひまして掲載させて頂きました。

(佐々木副会長)

他に何かお気づきの点がありましたらお願いします。

当初の計画では、3年から5年かなという判断でありますので、次の市の計画の関係で、どのように5年計画の途中の2年目頃、3年過ぎた頃から、手直しが入って来ると思ひまし、そうしないと間に合わないと思ひます。

将来条件が変り社会も変わって、新たに加えるもの等具体策も出て来ると思いますが、それはその時にまかせて、当面はこれで行きましょう。

3年で見直し、5年の長期でこれを作った段階で、更に数年先の計画を盛り込んで行かなくてはという中でしたが、足元を見つめて整理して来ました。ご理解頂きたいと思います。

(辻野委員)

こだわるのですが、目標値が15パーセント増とかで、3.8冊、4.2冊と書いてありますが、どうなのかなと思います。

全体の数を16,000冊とか14,000冊でとらえるのに、高校生期では2.8冊から3.8冊になって、普通の目標だと4冊、5冊という言い方をしないでしょうか。実績でいくと確かにコンマ幾つと成りまるめ難しいのかも知れません。

高校生が本を読まないから数値を下げたいとの話が有りましたが、本に関してはまるめた数字が良いのではないかと、今も引きずっています。

(事務局) 小栗図書・博物館長

中学生期、高校生期の基準値は、平成27年度の状況から中学生期3.2冊、高校生期2.8冊で市立図書館の利用状況の統計から割り出した数字であります。これではなくてはいけないということでは有りません。

(辻野委員)

目標の数字としては、整数にならないのかと思ったものからです。

(佐々木副会長)

33年度の目標数値の数字は、他のところと同じでなく、その目標がかなり高くて無理であればしょうがないので、5年間でこの数字になるという計算であればかまいません。

(辻野委員)

ちょっと賛同が得られないので、発言を取り下げます。

(事務局) 戸部生涯学習部長

5年間で、目標をどの程度までいけるか十分協議させて頂きます。今後将来の議論が残されています。パブリックコメントもありますので、なるだけ頑張ってみます。

(辻野委員)

目標値のとらえ方で、まるめた数字がぱっと出ないものかと思ひまして、あまりこだわりません。

(増満委員)

6ページの総貸出冊数は、市立図書館の利用状況が全ての基盤に成っているのであれば、こども図書活動の推進でなく、あくまで市立図書館に来て借りて欲しい冊数と思えてしまいます。気になったところです。

(佐々木副会長)

子どもは、あまり図書館で本を読まないですね。

(増満委員)

高校生は、なかなか市立図書館に行かないと思います。

学校図書館があれば、友達と利用したり、ネットでも無料で読めますから、そこが気になります。

(鈴木委員)

平成33年度に状況を確認するとか、市立図書館のデータで状況を確認することも出来る。学校図書館での利用状況についても5年後で理解できると思います。

(佐々木副会長)

この辺の課題は、次の段階に入っていくのでは？子どもの読書の形が変わっていきます。これを頭に置いて検討して頂ければと思います。 よろしいでしょうか。

(藤田委員)

17ページ、33年度目標値の児童書の貸出冊数のカンマの位置が違っているのではないですか。

(事務局) 戸部生涯学習部長

もう一度確認いたします。大変申し訳ありません。

(佐々木副会長)

よろしいでしょうか。

何か事務局の方で言い忘れていたことが有りましたら、どうぞ。

(事務局) 小栗図書・博物館長

補足説明をさせていただきます。14ページのブックスタート関連事業の拡充のところで、「おはなし しゅっぱつしんこう！」のタイトルを付けていますが、今現在行なっているブックスタート関連事業のブックリストを保健センターに来られた方に配られていることを一歩進めて、ブックセットの配布を加えていこうと思います。

乳幼児向けブックセットを1施設から81施設への貸出。子ども図書館を主体的にとらえて、事業を実施していく形で予算を含め、これを繋げて子ども読書活動推進計画の柱として、ブックスタート関連事業をアピールしていく形で、実際の事業に関しても中心になって行なっていきます。

市立図書館が主体となって、指定管理者の協力、学校、各施設と連携する。それを事業としてやっていきたいと思えます。今回の計画の一番大きなところと捉えています。もう一つ学校図書館状況を付け加えて頂きます。

(佐々木副会長)

よろしいでしょうか。

本当は今年、スポーツの件で進むのかなと思っていましたが、変更になりました。

9月9日の第3回審議会で諮問を受けて作って来た訳ですが、大変忙しく事務局の方もてんや わんやで、私も余計なことを話して混乱させてしまいました。申し訳なく思います。

かなりわかり易く成って来ました。

1つだけ今後の事を考えまして、教育委員会の事務局である生涯学習部をお願いしたいのは、これは図書館に関するのですが、次に、スポーツ振興の計画が入って推進していくことになると思います。

4ページの(5)計画の推進の評価というところがあります。諮問を受け、途中で生涯学習審議会のことばが入ってきましたが、実際今後私たちではなく、どうしても欲しかったのは主管課が関係各課との連携を取らないと出来ないということです。

是非、この点が一番大事なところなので、これからもお気を付けになってください。そうしないと、いろいろな資料・データ等が貰えなくなったり、会議も開けなくなったりします。そんなことは無いと思いますが、関係各課の連携の一文が有るか無いかで大きく違ってきます。お願いします。

ここはこれで終わりにします。

次に答申(案)についてお願いします。

(事務局) 小栗図書・博物館長

答申(案)について、簡単に説明させていただきます。

本日、答申をいただきましたら、教育長に答申を上げます。その後、政策調整会議である庁内の幹部への説明、正副議長、全委員協議会を経て3月議会への説明の手続きを取りまし

た後、パブリックコメントを頂くこととなります。これが2月後半から3月後半となります。

パブリックコメントを上げさせて頂き、また、庁内の幹部へ、正副議長、全委員協議会を経て6月議会を経て、最終的に6月の教育委員会に審議にかけ策定となります。

答申（案）について読み上げ。

答申に当たっての意見として、流山市の今置かれている状況、教育環境に力を入れていること、早期策定の重要性、本市の各部署、施設が連携して効果的に事業を実施することが望まれています。財政的側目については、（1）から（4）が特に重要と考えています。 以上です。

（佐々木副会長）

最後に（1）から（4）の4項目が重要性の高いものとして上げて有りますが、他にありますか。

予算措置については、この計画に関してはこれ以上難しいと思います。理由は簡単で、おたかの森に学校が新設されることから、なかなか予算がこちらに回ってこないことです。我慢しましょう。

先に、ブックスタートの関連で動いていただいているので、ご勘弁いただきたいと思います。よろしく願います。

（増満委員）

次の事項については子どもの読書活動を推進するために重要性が高くと書いてあるのに、（2）最重要課題である学校図書館の配置 となっていますが、**最重要課題は必要無い**と思います。

(事務局) 戸部生涯学習部長

最重要課題である はカットします。

最終的にカットする予定でしたが、文章がかなりありまして、整合性がとれていませんでした。

(佐々木副会長)

先ほどのご意見については、解決の方向で出来ていると思います。漏れは無いと思います。よろしいですね。

答申の方も今の箇所を訂正ということによろしいでしょうか。

ご意見が無ければよろしいでしょうか。

(事務局) 小栗図書・博物館長

計画(案)につきましては、この資料にあるものと本日も指摘頂いたご意見を調整したものを、きちっと整理して答申に付けさせていただきます。

この場におきまして、佐々木副会長預かりとさせていただき、ご承認していただければ1月20日に教育長に答申する運びになります。よろしくお願いいたします。

(佐々木副会長)

私の役目はここで終わらせていただきます。

(事務局) 戸部生涯学習部長

今期の任期は29年1月24日までですが、答申が残ってしまして、これを最終調整させていただきます。

今期、流山市子どもの読書活動推進計画については、古い県の資料を基に始めため、なかなかスムーズに行かず委員の皆様にはご迷惑をおかけいたしました。

会議を重ねたわりには、あまり進捗状況が良くなかったこと申し訳ありませんでした。今後、効率的な運営を進められるようにして行きたいと思います。

まず、今期につきましては、27年5月に新体育館「キッコーマンアリーナ」の運営計画、具体的には利用料金について審議していただきました。ありがとうございました。

現在は予定を遥かに超える利用者数があり、流山市のスポーツの拠点の要となっています。

2020年の東京オリンピックに向け、今後ますます利用度の高い施設になって行くと思います。皆様のご支援の賜物と思っています。

小林会長の辞任がありまして、急遽佐々木副会長には、実務的な会長の職を負っていただくことになり、ありがとうございました。

また、辻野委員におきまして実務的な副会長としての活動にご協力いただきありがとうございました。

スポーツ施設を含めて、本当にありがとうございました。

「流山市子どもの読書活動推進計画」も何とかゴールが見えて来たのかなと思っています。

今期はこのような形で、今日で終了させていただきます。

昨年12月でいよいよ人口18万人を擁する市になりました。また、本年1月1日付けで市制50周年を迎えました。

人口も増加をたどっていて、その中で生涯学習の役割も益々高まってきております。来期には、おたかの森駅前に500人程度の「おたかの森ホール」が、木、南流山地区に人口増により「地域交流センター」が建設予定となっています。これら施設の管理及び運営計画についてご審議をお願いしたいと思います。

今期は本当にありがとうございました。

(佐々木副会長)

皆さん、ご協力ありがとうございました。

残念だったことは、小林会長が亡くなられたことです。大変ショックを受けました。

その後、全国社会教育振興大会に参加させて頂き、何とか役を果たせたかなと思います。皆様のご協力があったからだと思います。

子どもの読書活動推進計画の中で、標記上の問題だと途中で言ってしまう混乱を招いてしまいました。訂正してお詫びいたします。

この後、20日の教育長への答申までに正式なものに作り上げるころまではさせて頂きます。ご了解をいただければと思います。ありがとうございました。

(事務局) 松本生涯学習課補佐

答申内容については、後日送らせて頂きます。

以上をもちまして、平成28年度第5回生涯学習審議会を終了いたします。

本日は、お忙しいところありがとうございました。

(閉会 15:40)